

令和8年度 当初予算案等の概要

2026年2月5日

令和8年2月 藤沢市議会定例会
記者会見資料

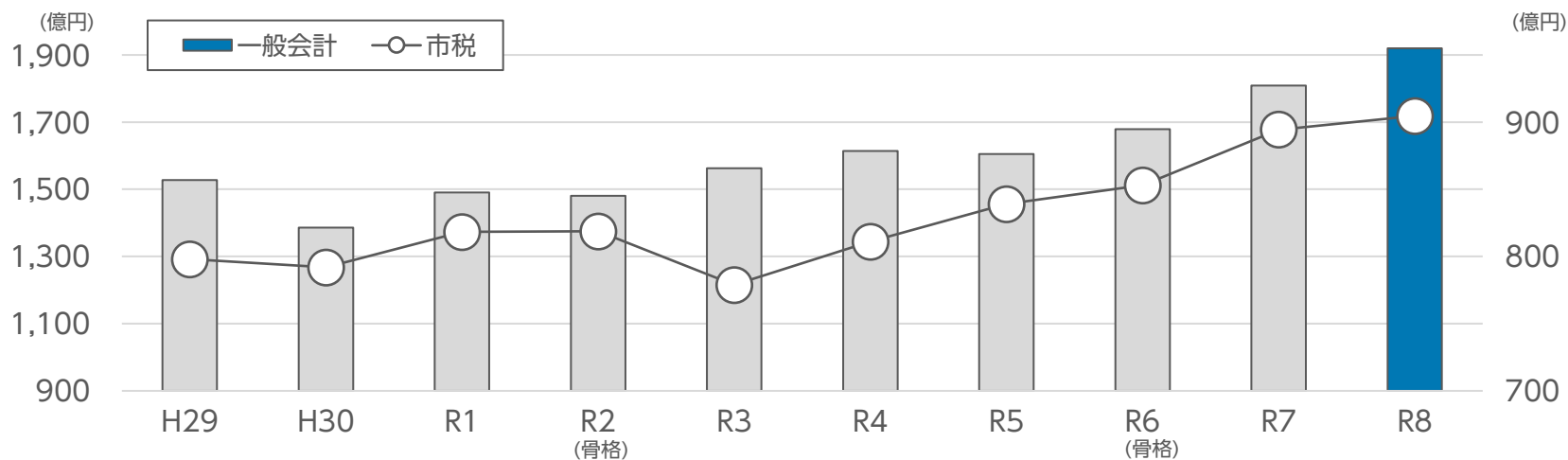


2025
健康経営優良法人
KENKO Investment for Health

大規模法人部門

当初予算案の概要

区分	令和8年度 当初予算額(A)	令和7年度 当初予算額(B)	差額(A-B)	前年度比 (A/B)
一般会計	1,919億8,100万円	1,808億9,500万円	110億8,600万円	106.1%
全会計	3,317億9,247万円	3,143億7,557万円	174億1,690万円	105.5%
市税	904億5,600万円	894億円3,400万円	10億2,200万円	101.1%



当初予算案の性格

<歳出>

物価高騰等の影響が継続していることに加え、
扶助費が大きく増加した

<歳入>

財源対策として特例的な借入れである
「調整債」を**18億円**計上するとともに、
財政調整基金を**過去最大となる53億円**
取り崩した(前年度比+13億円)

社会課題に対応する事業拡充を図りつつ、
急激な市民サービスの低下を回避する予算とした

将来への積極投資

① 子育て支援の充実

- ・フリースクール等に通う児童生徒の保護者等に対する経済的支援
- ・善行保育園新園舎の整備、法人立保育所の開所
- ・医療的ケア児の受入れを新たに3施設で実施
- ・サマースクール実施箇所拡大
- ・妊婦健康診査の費用助成増額
- ・産後ヘルパー事業の実施 など

② 教育環境の充実

- ・小学校給食の無償化
- ・屋内運動場の空調設備設置校の拡大
- ・次期学校ICT基盤の更新とデジタルドリルの導入
- ・老朽化した小・中学校(辻堂小、鵜洋小、鵜沼中)の再整備
- ・特別支援学級の整備 など

当初予算案の参考数値

① 財政調整基金残高(年度当初)

令和7年度：74億円 ▶ **令和8年度：59億円(▲15億円)**

2年続けて基金残高を大幅に減らすこととなり、これまでと同じ市民サービスを継続すると、令和9年度で枯渇してしまう見通し

② 経常収支比率

※正式な数値は決算に基づく指標であり、予算の数値は参考である。
決算では予算の執行残等が生じるため、正式な数値は低くなる。

(令和6年度決算:94.9%)

令和7年度：100.2% ▶ **令和8年度：104.3%**

(4.1ポイント上昇)

経常収支比率が100%を超えると、経常的な歳出(人件費や扶助費、公共施設の維持管理費等)を経常的な歳入(市税等)でまかなえない状態となり、本市財政は硬直化してきているということ

安定した財源だけでは予算が編成できないということ

耐震改修補助限度額の引上げ

住まい暮らし政策課
850万円

建築物等防災対策事業費

今般の資材高騰等に対応し、さらなる耐震化促進のため、
木造住宅耐震改修補助限度額を90万円から115万
に引上げます。

	令和7年度まで	令和8年度から
補助額	改修費用の1/2 (限度額90万円)	改修費用の1/2 (限度額115万円)

※耐震診断費用の追加補助制度は廃止となります。

(令和6年能登半島地震被害状況)



消防力の強化

① 救急隊増強

救命効果の向上を目的に、現在24時間体制が整備されていない**鵜沼、片瀬両地区に救急隊を常駐**させることにより、**救急需要増加への対応**を図ります(運用開始予定 令和9年4月)

救急救命課
8,663万円
救急需要対策事業費

② 情報収集用ドローンの整備

大規模災害発生時等に**迅速な情報収集**体制を確立するため、高性能ズームや赤外線機能を有するカメラ、スピーカー等を搭載した**ドローン**を整備します

警防課
604万円
大規模震災等対策強化事業費



市民センターにおける 福祉機能の充実

地域福祉推進課・
藤沢市民センター

地域における福祉の相談・支援機能の充実や
福祉の地域づくりを促進するため、福祉職の配置を進めるとともに
藤沢市民センターに地区福祉窓口を開設します

- ・ **藤沢市民センター地区福祉窓口の開設**
令和8年5月予定
- ・ **福祉職の配置**
社会福祉士などの資格を持つ職員を
8地区の市民センターへ専任配置
(六会、片瀬、明治、善行、湘南大庭、湘南台、鵜沼、村岡)

市内13地区の全ての
市民センターと石川
分館に地区福祉窓口
が設置されます



地区福祉窓口に寄せられた相談などから、地域生活課題を市民センターで把握し
地域づくりに生かすことをめざしています

終活支援

地域福祉推進課

福祉総合相談支援センター(本庁舎2階)の機能拡充を図り、
自己の最期への不安等を受け止め、自らの備えを促す
終活支援相談を実施します

- ・ 終活支援相談の実施



- ・ 情報登録事業の実施



緊急連絡先等を事前に登録することで、
ご自身の“もしも”の時にご自身の意思の反映につながるよう
お預かりした情報を指定した先にお伝えします

③ 笑顔と元気あふれる子どもたち

子どもたちの「やってみたい」を実現

子ども総務課

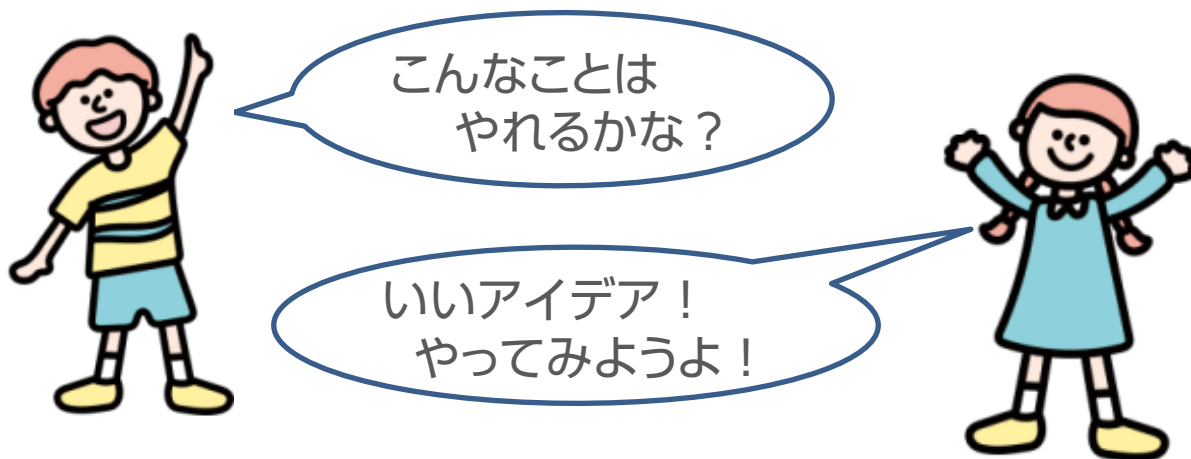
186万円

子ども施策関係事業費

(仮称) 藤沢市子どもファンド事業の試行

～「こどもまんなか社会」の実現に向けた取組の推進～

様々な地域課題の解決やまちの魅力の向上を目指し、
子どもたちが、自分たちの視点で、自ら声を上げて取り組み、
「自ら社会を動かす経験」を提供します



③ 笑顔と元気あふれる子どもたち

子どもの育ちと子育て家庭を支援

① こども誰でも通園制度の実施

保育園等に通園していない0歳6カ月から満3歳未満までの子どもを対象に、利用可能時間の範囲内で、就労要件を問わず時間単位で柔軟に利用できる制度が、4月からスタートします

保育課
5,849万円
乳児等通園支援事業費

② 善行保育園新園舎の整備

老朽化した公立保育園の施設の安全性の確保等に対応するため、善行保育園と善行乳児保育園等を複合化し、整備を進めています

・令和8年12月の竣工予定

子ども総務課



③ 笑顔と元気あふれる子どもたち

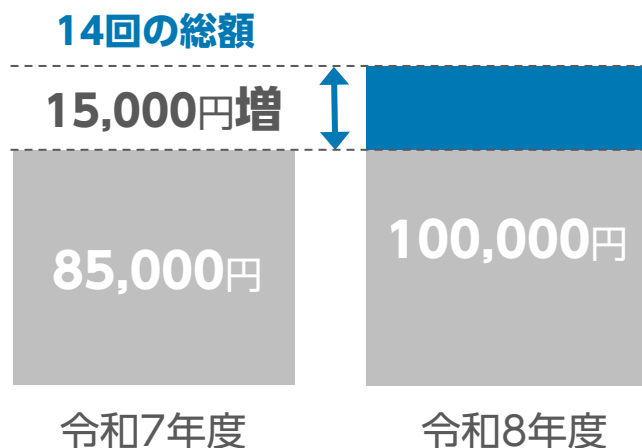
健やかな妊娠・出産・産後のサポート

親子すこやか課
3億5,103万円
妊娠・出産包括支援事業費

※予算額は記載の事業の合計

安全・安心で健やかな妊娠・出産・産後をサポートするため、
妊婦健康診査の費用助成を1万5千円増額し10万円にする
とともに**産後ヘルパー事業を開始**します

① 妊婦健康診査費用助成



② 産後ヘルパー事業

対象 多胎児及び慢性疾患児
等を養育する家庭

内容

- ・ 食事の準備・片付け、掃除、洗濯、買い物等の**家事支援**
- ・ 授乳・沐浴準備、おむつ交換等の**育児支援**



※一部利用料の自己負担あり

デジタルドリルの導入(中学校)

教育総務課

3,434万円

教育情報機器関係費

中学校にデジタルドリルを導入し、個別最適な学びの充実、情報活用能力の育成、教員の働き方改革を図ります。

① 個別最適な学びの充実



AIによる演習問題の最適化や動画解説により、生徒一人ひとりの習熟度やペースに合わせた学習を提供し、学習の定着度を高めます。

② 情報活用能力の育成

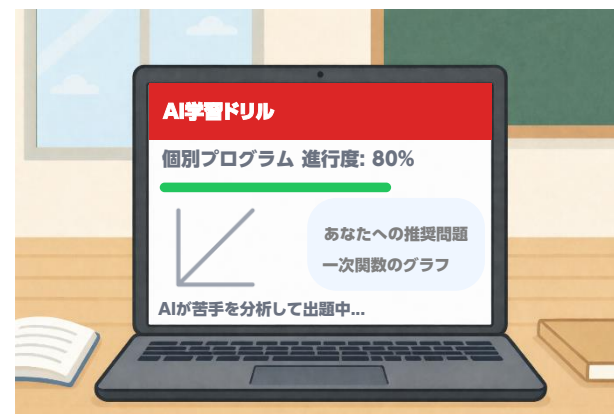


日常的にICT機器を活用する環境を整え、情報を正しく選び、主体的に使いこなす力を育みます。

③ 教員の働き方改革



宿題の自動採点や単元ごとの問題配信機能により、作問・採点業務を効率化。教員が児童生徒と向き合う時間を創出します。



デジタルドリルイメージ

藤沢聖苑(火葬場)の再整備

福祉総務課
5,203万円
火葬場整備事業費

藤沢聖苑再整備の基本構想策定に先駆けて、具体的な**建設計画等**、一定の**整備方針を定める**ため、**専門的な知見**を持つ**外部コンサルティング**を活用した**調査業務**を実施します

- **建設計画及び施設、設備計画の検討**
複数段階及び複数エリアに分割した新施設整備の検討等
- **整備、運営手法に関する検討**
民間活力導入可能性の確認及び整備、運営手法の方向性の検討等
- **業務報告書の作成**



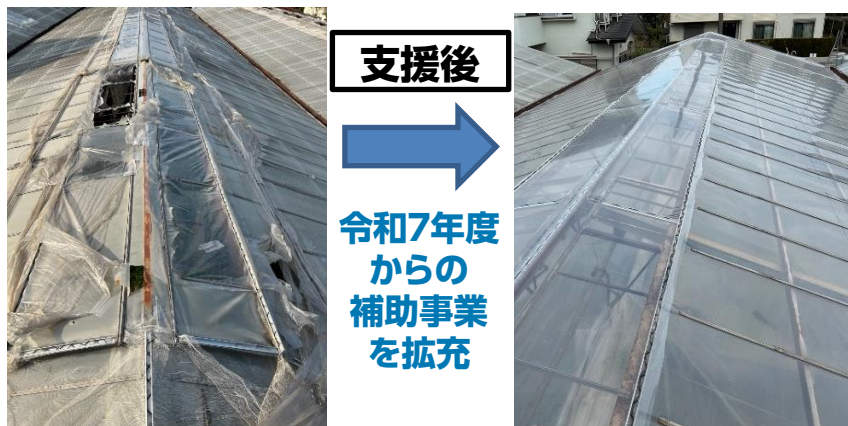
藤沢聖苑エントランス

産地競争力の強化

産地競争力の強化と継続的な産地形成、農業経営の安定化を図るため、生産工程の省力化や農産物の安定生産・供給を図る機械等の導入を支援する(9事業)

<代表的な事業の一部を抜粋>

園芸用施設被覆材張替補助事業



フィルムに加え、**ガラス等も補助対象**とし、藤沢産農産物の「品質向上」、「生産量の増」を図ることで、施設園芸農家の所得増につなげる

非破壊糖度計導入事業



- ・ブドウの糖度分布を正確に把握
- ・品質を高レベルで管理
- ・ロスの減少

※画像はイメージ

令和7年度、かながわブランド登録を契機に『**藤沢生まれの藤稔**』のブランド力の更なる強化を図る

農業水産課
3,334万円

産地競争力強化事業費

湘南ライフタウンの活性化促進

住まい暮らし政策課
1,112万円

住宅政策推進費

ニュータウンにおける団地再生の取組の一環として、地域の活性化に向けて**将来のまちづくりのキーパーソン**となり得る人材の**発掘**と、その人材の**育成**プログラム等を実施します



湘南ライフタウンの街なみ



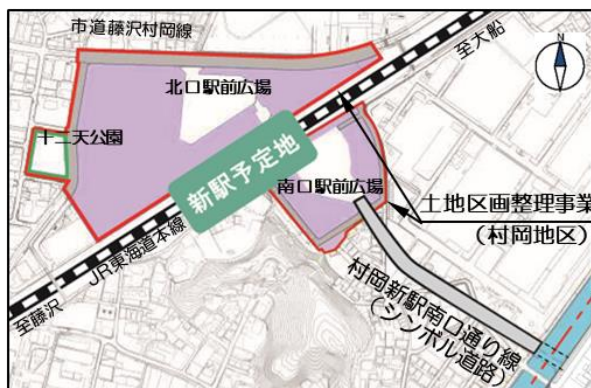
人材育成プログラムのイメージ

村岡新駅周辺地区の整備

都市整備課
26億8,241万円

村岡地区都市拠点総合整備事業費

- **村岡新駅設置事業**
(新駅設置負担金)
- **土地区画整理事業**
(造成工事等補助金)
- **村岡新駅南口通り線整備事業**
(整備工事、移転補償等)



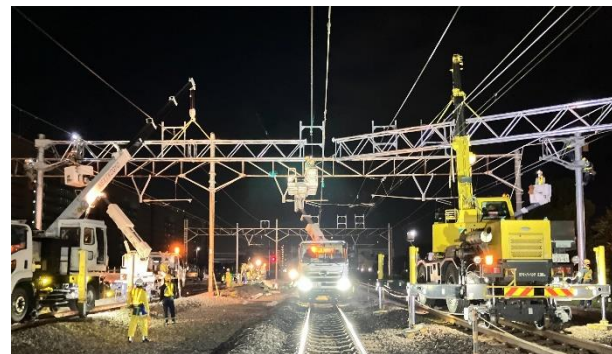
事業位置図



研究開発拠点 ワークショップ



新駅・自由通路のイメージ
(南東方向から)



新駅設置工事

※JR東日本提供

秋葉台公園球技場人工芝更新工事

スポーツ推進課
2億8,455万円
スポーツ施設整備費

秋葉台公園にある球技場の人工芝は、設置から**10年以上**が経過し、劣化が進んでいるため、引き続き市民の皆様が安心して利用できる球技場とするべく、人工芝の**更新工事**を行います。



この更新工事に伴い、クラウドファンディングを実施する予定です！
皆様からのご支援をお待ちしております！！



※なお、人工芝更新作業の予定時期は、令和8年12月から翌年3月頃までを予定しており、令和9年度からの供用開始を目指します。

全品目戸別収集の試行区域拡大

環境事業センター
1,969万円

廃棄物等戸別収集事業費

市民の排出負担の軽減や、道路上等にある資源集積所の維持管理の負担軽減を目的に、全品目戸別収集の試行区域を拡大します。

集積所で収集している資源(4品目)

- 段ボール
- 新聞・折込広告
- 飲料用紙パック
- 古布類

試行収集区域の拡大(令和7年度1自治会)

御所見、湘南台、村岡、辻堂、湘南大庭の5地区
9自治会・町内会へ拡大



不燃ごみの品目変更等

「不燃ごみの品目変更」及び「リチウムイオン電池内蔵製品の取扱い変更」を4月の本格実施前に移行期間として1月19日から実施しています。

地球温暖化対策設備導入の補助拡大

ゼロカーボン推進課
150万円

ゼロカーボン推進補助事業費

地球温暖化対策のさらなる推進を図るため、新たにエコキュート等の給湯機器やプラグインハイブリッド自動車 (PHEV) 及びV2H充放電設備を補助対象設備として拡大します。



V2H充放電設備

新規対象設備

・高効率給湯機器導入補助

(R7)

・エネファーム(家庭用燃料電池)



(R8)

・エネファーム(家庭用燃料電池)
・(追加)エコキュート(ヒートポンプ式給湯機)
・(追加)ハイブリッド給湯機

・次世代自動車導入補助

(R7)

・電気自動車(EV)
・燃料電池自動車(FCV)



(R8)

・電気自動車(EV)
・燃料電池自動車(FCV)
・(追加)プラグインハイブリッド自動車(PHEV)
・(追加)V2H充放電設備(加算措置)

令和7年度 2月補正予算案の概要

会計別	12月補正後 予算額 (A)	専決処分による 補正額 (B) (※)	2月補正予算額 (C)		2月補正後予算額 (A+B+C)
一般 会計	1,880億8,387万円	2億1,546万円	108億 1,637万円	うち第8号 26億8,303万円	1,991億1,570万円
				うち第9号 81億3,334万円	
全会計	3,221億3,425万円	2億1,546万円	116億1,718万円		3,339億6,690万円

(端数処理の関係で合計が合わない場合があります)

※衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査を実施するため、1月19日付で専決処分を実施したもの

避難所における生活環境の改善

防災政策課

7,587万円

地域防災緊急整備事業費

国の「地域未来交付金（地域防災緊急整備型）」を活用し
発災後の避難所において、迅速に**快適なトイレ環境**を実現するため
自動ラップ式トイレを整備するとともに、機動力の高い**トイレカー**を導入し、自治体間支援体制の強化を図る。



自動ラップ式トイレ(162セット)
【避難所81カ所 男女各1セット】



トイレカー(2台) イメージ
【災害対応車両登録制度の活用】

この資料に関する問い合わせ先

藤沢市役所

財務部	財政課	山本	内線2301
市長室	秘書課	加藤	内線2110
企画政策部	広報シティプロモーション課		
		橋本	内線2120